

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和03年12月24日

計画の名称	大仙市における良好な水環境の実現（重点計画）													
計画の期間	平成30年度 ～ 令和04年度（5年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	大仙市													
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、自然環境の保全を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		1,015	A	1,015	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	H31末	R4末
1	下水道処理人口普及率			
	大仙市の下水道処理人口普及率を44.2%（H30当初）から48.6%（R4末）に増加させる。	44%	44%	49%
	下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）×100			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

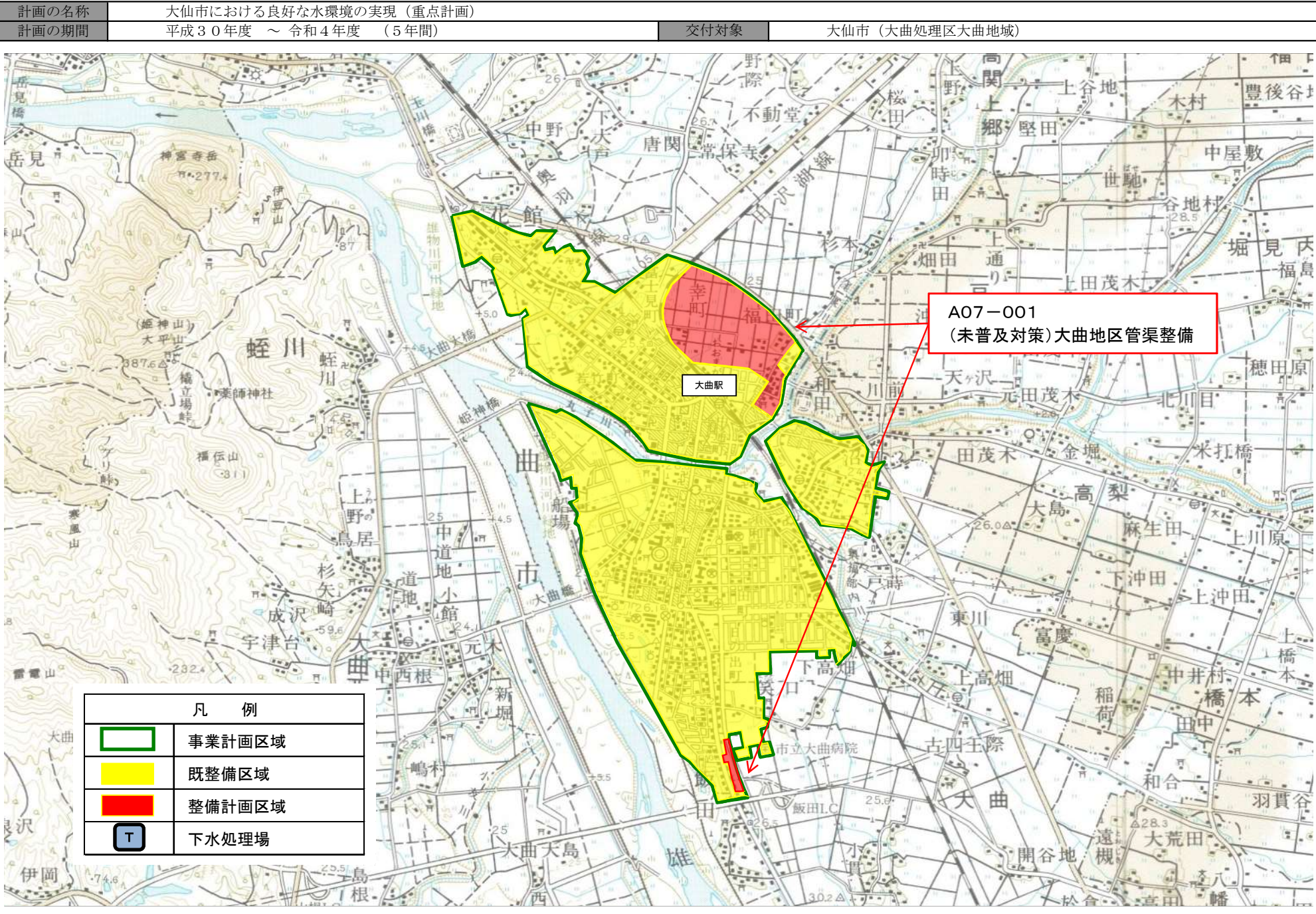
A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	大仙市	直接	大仙市	管渠（ 污水）	新設	（未普及対策）大曲地区 管渠整備	污水管 Φ150～200 L=5,200m	大仙市	■	■	■			467		—	
		地域種別：過疎																		
	A07-002	下水道	一般	大仙市	直接	大仙市	管渠（ 污水）	新設	（未普及対策）神岡地区 管渠整備	污水管 Φ150～200 L=1,100m	大仙市	■	■				92		—	
		地域種別：過疎																		
	A07-003	下水道	一般	大仙市	直接	大仙市	管渠（ 污水）	新設	（未普及対策）南外地区 管渠整備	污水管 Φ150 L=200m	大仙市	■					13		—	
		地域種別：過疎																		
	A07-004	下水道	一般	大仙市	直接	大仙市	管渠（ 污水）	新設	（処理区統合）農業集落 排水神岡東部地区ほか	污水管 Φ100～200 L=3,400m	大仙市		■	■	■	■	443		—	
		地域種別：過疎																		
												小計						1,015		
											合計						1,015			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

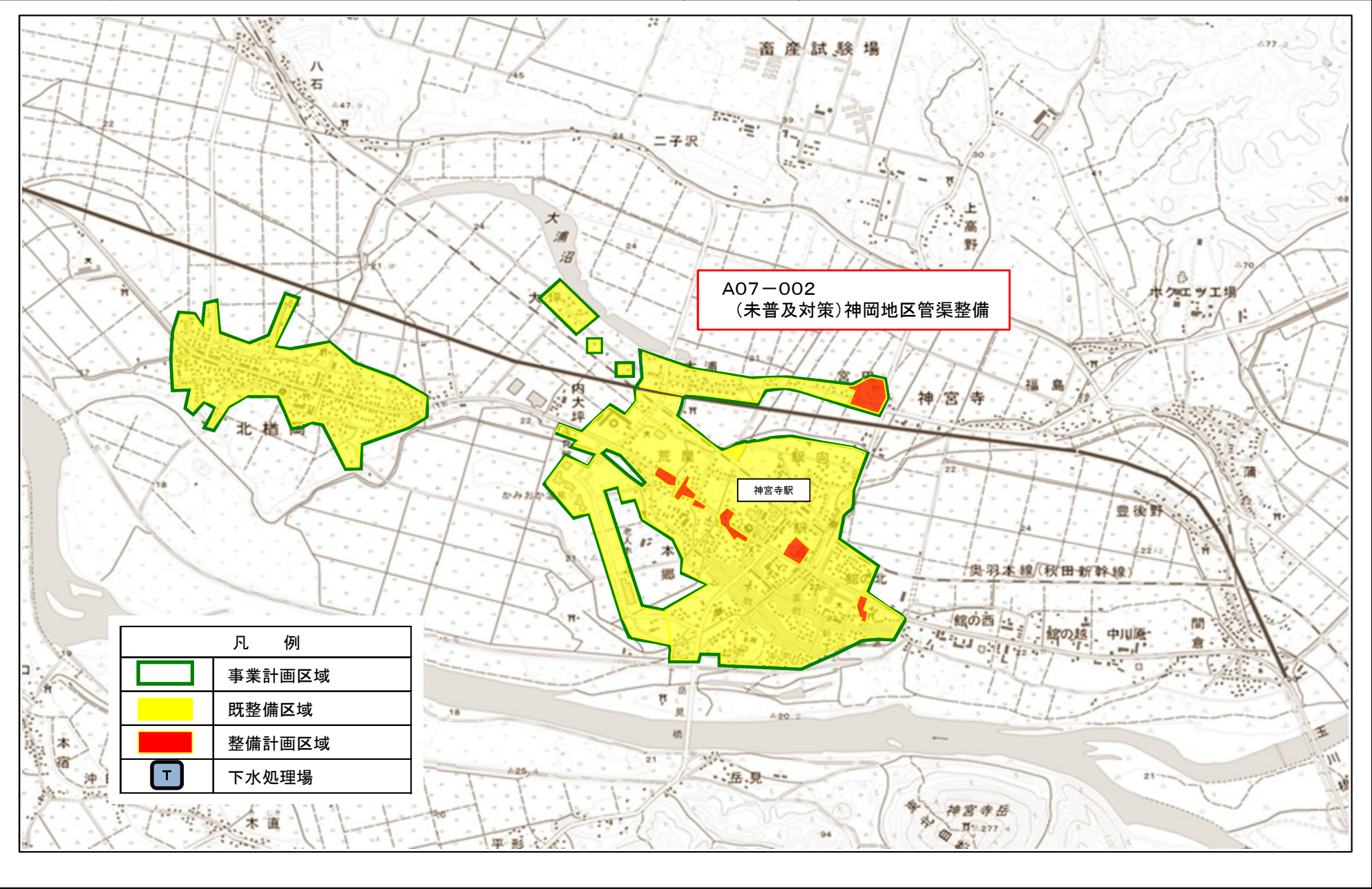
	H30	H31	R02	R03	R04
配分額 (a)	202	95	123	57	30
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	202	95	123	57	30
前年度からの繰越額 (d)	0	12	0	0	0
支払済額 (e)	190	107	123	57	30
翌年度繰越額 (f)	12	0	0	0	0
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

社会資本整備総合交付金



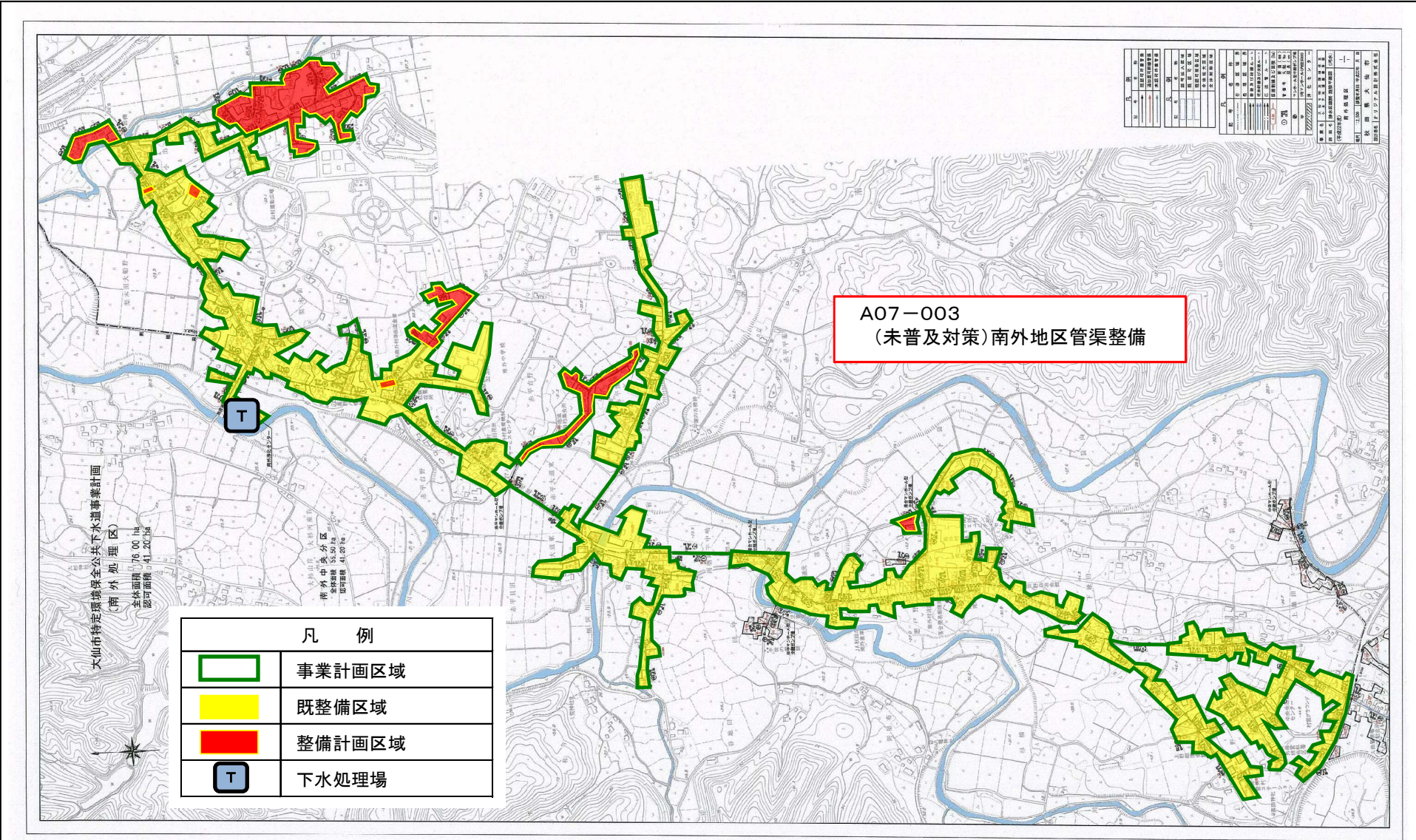
社会資本整備総合交付金

計画の名称	大仙市における良好な水環境の実現（重点計画）		
計画の期間	平成30年度～令和4年度（5年間）	交付対象	大仙市（大曲処理区神岡地域）



社会資本整備総合交付金

計画の名称	大仙市における良好な水環境の実現		
計画の期間	平成30年度 ～ 令和4年度（5年間）	交付対象	大仙市（南外処理区）



社会資本整備総合交付金

計画の名称	大仙市における良好な水環境の実現（重点計画）		
計画の期間	平成30年度～令和4年度（5年間）	交付対象	大仙市（大曲処理区）



事前評価チェックシート

計画の名称： 大仙市における良好な水環境の実現（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性 1) 計画の目標が上位計画等と適合している。	○
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性 2) 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
②目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
②目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
②目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
②目標と事業内容の整合性等 4) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性	
④円滑な事業執行の環境 ①計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性	
④円滑な事業執行の環境 ②事業実施のための環境整備が図られている。	○
III. 計画の実現可能性	
④円滑な事業執行の環境 ③関連する機関との調整が図られている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 ④事業に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 ⑤継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○